

学生の皆さんへ

2021 年度秋 semester の授業について(2021 年7月 23 日)

2021 年度秋 semester の授業形態は、ハイブリッド型・対面型・オンライン型とすることに決定しましたのでお知らせします。それぞれの科目の具体的な授業実施形態や感染防止策、留意点は下記をご確認ください。

なお、現段階においては 2022 年度については一部の授業を除いて全て対面で実施することを想定していますので、この点に留意した上で 2021 年度秋 semester の授業を受講してください。

<2021 年度秋 semester 授業実施の概要>

(1) 授業実施に関わる基本的考え方

- ・ 学生・院生・教職員の生命・健康・安全を最優先としつつも、APU 最大の特徴でもある多文化環境における正課・正課外活動を再び取り戻すために、対面による授業を原則とします。対面で受講する学生の皆さんは、キャンパスに通学できるよう、各自で準備をお願いします。
- ・ ただし、日本への入国ができない学生や基礎疾患等のやむを得ない事情で対面での授業受講が困難な学生がいることから、そうした事情のある学生が Zoom によるオンライン受講のみでも学修ができるよう配慮を行います。
- ・ 対面授業で使用する教室の定員は、1メートル程度の距離が確保できることを前提として、1 クラスあたりの受講者人数の上限を設定します。そのため、ハイブリッド型授業の教室で対面での受講は先着順を原則とし、収容定員の上限に達した場合は以降の入室は認めず、入室できなかった方については予め決められた開放教室にてオンライン型で受講していただきます。なお、収容定員を超過する状況が発生した場合、翌週以降の当該科目の授業については学籍番号で教室の定員管理を行い、学生のみなさんが教室受講とオンライン受講を隔週で繰り返すことができるように調整します。
- ・ 開講後、新型コロナウイルスの感染状況によっては BCP レベルに応じ対面での授業をオンラインのみで行う場合もありますので、予めオンライン受講環境を整えておいてください。学生のみなさんは、各自で Campus Terminal 等で大学からの案内をご確認ください。

(2) 開講する科目の授業形態について(学部・大学院科目)

対象となる主な科目	実施形態	概要
講義科目	ハイブリッド型	教室での対面授業と Zoom でのオンライン授業を併用します。 学生は原則、自身の学籍番号に関係なく、毎週教室で対面授業を受講可能です。ただし、各教室には、収容定員が予め決められているため教室での受講は先着順とします。収容定員を超えた場合は、開放教室に移動し各自オンラインで受講します。定員を超えた科目については、翌週以降、学生は学籍番号の奇数・偶数によって隔週で対面受講とオンライン受講を繰り返します。なお、開放教室にはパソコンが設置されていないため、各自パソコン等の端末を持参してください。 大学がクラスを指定し、履修科目登録する APM 必修科目、APS 入門も対象です。
一部の講義科目 対象科目は、2021 年秋 semester の時間割で確認してください。	対面型のみ	対面型のみで受講が可能な科目です。オンラインでの受講はできません。
	オンライン型のみ	オンラインのみで受講が可能な科目です。対面での受講はできません。
言語科目(必修言語科目)	対面型	教室での対面受講を原則とします。オンラインでの受講はできません。 ※春 semester は、学籍番号の奇数・偶数で対面受講とオンライン受講を交互に入れ替えるスイッチ型授業を実施しましたが、秋 semester の言語科目は、学籍番号に基づいた登校日の制限は設けません。
	オンライン型	日本へ入国できない学生や基礎疾患等の理由で対面での受講ができない学生が対象です。対面型で受講できない学生を把握するために、2021年7月19日(月)～23日(金)の授業内で、必修言語科目を受講している学生を対象に秋 semester の受講形態について調査を実施しました。その回答内容に基づいて秋 semester のクラスが編成されます。
必修言語科目を除く言語科目	オンライン型/対面型	受講生の状況を踏まえて オンライン型もしくは対面型での実施となります。 授業の実施形態については、シラバスもしくは時間割を確認してください。
1 回生演習科目 対象科目名:「スタディスキル・アカ デミックライティング」、「多文化協 働ワークショップ」	ハイブリッド型	教室での対面授業と Zoom でのオンライン授業を併用します。 グループワークを多く行う授業になり、教室で Zoom を使ったグループワークも想定されますので、各自ノートパソコンとマイク付きイヤホンを毎週持参してください。
3 回生演習・4 回生演習・大学 院演習科目	担当教員が決定	担当教員が受講生の状況を踏まえて、受講形態を調整し決定します。 授業担当教員の指示に従ってください。

(3) 対面型授業受講における教室の感染防止対策の取り組み

① 教室の消毒

- ・ 教室内の机、椅子、壁や教卓機器など接触可能性がある面には抗菌コーティングが施されています。

② 飛沫防止対策

- ・ 教卓にアクリル板を設置しています。
- ・ 教員はマスクを着用して授業を行います。

③ 教室の換気

- ・ 教室のドア 2ヶ所および窓については 1 限目開始までに大学側で開放しておきます。
- ・ 授業中は原則として解放したままで授業を行ないますが、雨天や気温が低い場合については、1 時間に一度 10 分程度の換気を行います。授業終了後は窓を開放しておきます。
- ・ 大教室については大型の扇風機を教室後方に設置します。

④ 健康管理

- ・ 各所に検温器を設置しています。発熱している場合には教室に入室しないでください。

(4)対面での授業開始にあたっての注意事項

- ・ キャンパスでは必ずマスクを着用してください(マスクを着用していない場合は教室で授業は受けられません。マスクを忘れた場合は生協やローソンで各自購入してください)
- ・ キャンパス内外において 3 密を避けることを常に意識し、手洗い・消毒・うがいを小まめに行いましょう
- ・ 大学備え付けのパソコンを利用する場合、マイク付きイヤホン/ヘッドセットは各自でご準備ください。忘れた場合は生協やローソンで各自購入してください。
- ・ 体調が優れない場合はすぐにヘルスクリニックに相談の上、対面では授業を受けないようにしてください。ハイブリッド型授業は、Zoom で受講してください。言語科目などの対面型でのみ実施される科目については担当の先生に相談してください。
- ・ カフェテリア等で食事を取る際も会話は控えましょう。学外での食事会、パーティー、カラオケなどは感染のリスクを高めますので控えてください。通学等で公共交通機関を利用する場合にも、マスクを着用し、車内での会話を控えてください。

最後に、キャンパスでの感染拡大を防止するためには、大学が対策を講じるだけでは不十分で、学生・院生・教職員を含む構成員一人ひとりがウィズ・コロナ時代に対応した「新しい生活様式」を意識しながら行動することが求められます。大学のように多くの人達が集まる場所においては、自身が感染するリスクだけでなく、他の学生・教職員を含む構成員に感染させるリスクもあることを十分に理解した上で、秋 Semester からの授業に備えてくれることを期待します。

以上